

自分たちの街は 自分たちで守る！



多発警報

あなたの愛車が
狙われています

本年に入り、市内では車上ねらいの被害が多発しています。

車上ねらいは、無人の車の窓ガラスを石やハンマーなどで破り、車内にある金品を盗むという悪質な犯罪で、最近では、カーステレオやカーナビといった備品を奪い取るケースもあります。

犯罪者は、パチンコ店やスーパーの駐車場、人通りの少ない路上に停めた車を狙います。

次のことに注意し、犯罪被害を未然に防ぎましょう。

○車内に貴重品や現金、カード類を置かない。

○車から離れるときは、短時間でも必ずロックを。

○車にも防犯装置（イモビライザーなど）を。
○駐車場は明るく、周囲からの見通しの良い場所を。

学区別車上ねらい被害状況（1月～3月）



はじめてみませんか 防犯コミュニティ

犯罪者が嫌うのは

住民同士の連帯感です

多くの犯罪者は、犯行に及ぶ前、街の雰囲気を見ます。例えば、「ゴミ出しルールは守られているか」「公園や照明設備は整っているか」など。中でも特に気にするのは、「住民同士の近所付き合い」。地域に人がいないときはもちろん、他人のことには無関心といった雰囲気の街は、犯行を企てやすいと考えます。

「犯罪のない安全で安心して暮らせる街」をつくるためには、住民が街に関心を持ち、結束を強めることが大切です。犯罪者は、「どこかで誰かが見ている」という視線を最も恐れています。

地域を守ることが
できるのは「住民」だけです

現在、市・警察などを中心に、治安回復に向けたさまざまな取り組みがされています。しかし、増加する犯罪に対しては、市・警察だけでなく、地域住民と一体となって防犯対策を講じていくことが大切です。

そこで今、注目を集めているのが、地域住民やボランティア団体が自主的に防犯活動を行う「防犯ボランティア」です。

防犯ボランティア団体が活動を開始した理由のひとつが「地域での防犯活動の必要を感じたから」というものです。自分たちが住む街で、犯罪や非行が多発し、防犯活動の必要性を強く感じたのです。「自分たちの街は自分たちで守る」、この気持ちを多くの皆さんが持てば、自然に防犯の輪は広がります。あなたもご近所の方と防犯について話し合い、活動をはじめませんか。

一戸一灯運動実施中

市内での街頭犯罪の増加に伴い、平成16年7月から、家庭、事業所の門灯や玄関灯の終夜点灯をお願いしています。20W電球を1日10時間、毎日点灯した場合の電気料金は1ヵ月で110円程度です。街を明るくし、市内から犯罪を無くしましょう。

皆さんの
守りまを！
守りまを！

安全安心課
☎66・1156
蒲郡警察署
☎68・0110

蒲郡警察署ではホームページにて「身近な犯罪情報」を提供しています。
<http://www.e-style.to/gamakei/>